



# ソフトバンクのサステナビリティ ～自分ごと化への挑戦～

SoftBank

# ソフトバンクグループの経営理念

情報革命で  
人々を幸せに



# Beyond Carrier

通信キャリアの枠を超える、  
情報・テクノロジー領域を拡大

通信事業

DX/ソリューション



ファイナンス



メディア・EC



新領域



# ESG格付/評価

2025

日経SDGs経営調査

5年連続  
★5

+プライムシート企業に選定

NIKKEI  
**SDGs**

プライムシート企業 2025

2025

脱炭素経営  
ランキング GX500

3年連続  
第1位



2024

DJSI World

3年連続選定

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

2024

MSCI ESG格付

2年連続  
**AAA**

MSCI  
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA AAA

GPIF参照ESG指数にも組入

調査期間：日経SDGs経営大賞：2025年5月-7月 / GX500：2024年5月-7月  
/ DJSI World(2023) 2023年4月-7月 / MSCI : 2023年度-2024年度



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

2024 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数



Disclaimer

The inclusion of SoftBank Corp. in any MSCI Index, and The use of MSCI logos, trademarks, service marks or index names herein, do not constitute a sponsorship, endorsement or promotion of SoftBank Corp. by MSCI or any of its affiliates. The MSCI Index are the exclusive property of MSCI. MSCI and the MSCI Index names and logos are trademarks or service marks of MSCI or its affiliates.

# SDGs進捗（2025年現在）

## 2030年までに達成できそうなものは一つもない厳しい状況



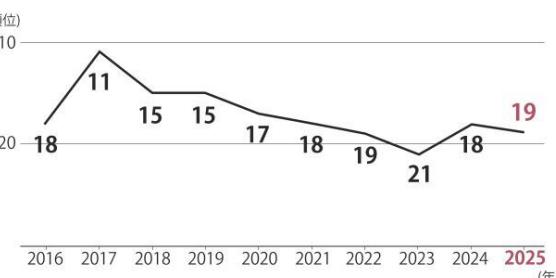
# SDGs進捗\_日本（2025年現在）

## SDGs達成度ランキング世界19位(前年18位)



達成→重要課題ありへ  
高等教育機関のSTEM割合が追加影響

日本のSDGs達成度ランキングの推移



# 経済界におけるグローバルリスクTOP5 経年推移

経済

環境

地政学

社会

テクノロジー

発生可能性

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1st	インフラの故障	資産価格の暴落	資産価格の崩壊	資産価格の崩壊	暴風雨・熱帯低気圧	極端な所得格差	極端な所得格差	国家間紛争	大規模な非自発的移住	異常気象	異常気象	異常気象	異常気象	異常気象
2nd	慢性疾患	中東の不安定	中国经济成長鈍化	中国经济成長鈍化	洪水	長期間にわたる財政不均衡	長期間にわたる財政不均衡	異常気象	異常気象	非自発的移住	自然災害	自然災害	気候変動対策の失敗	気候変動対策の失敗
3rd	石油価格の急激な高騰	国家破綻および危機	慢性疾患	慢性疾患	不正行為	温室効果ガス排出量の増大	温室効果ガス排出量の増大	失業・不完全雇用	国家統治の失敗	気候変動対策の失敗	自然災害	サイバー攻撃	自然災害	自然災害
4th	中国经济のハードランディング	石油価格の急激な高騰	グローバルガバナンスの欠如	財政危機	生物多様性の喪失	サイバー攻撃	水供給危機	気候変動	国家の崩壊または危機	国家間紛争	テロ攻撃	データの不正利用	データの不正利用	生物多様性の喪失
5th	資産価格の暴落	慢性疾患	グローバル化の抑制（新興諸国）	グローバル・ガバナンスの欠如	気候変動	水供給危機	人口高齢化	サイバー攻撃	高度の構造的失業または過少雇用	自然災害	データの不正利用	気候変動対策の失敗	サイバー攻撃	人為的な環境災害

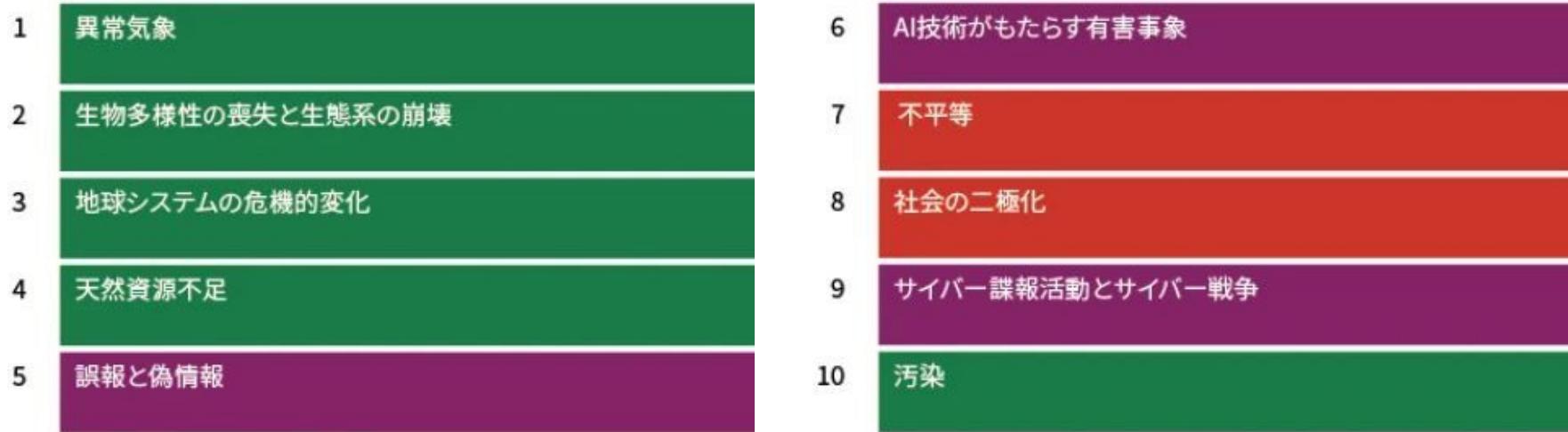


影響度

	1st	2nd	3rd	4th	5th	1st	2nd	3rd	4th	5th	1st	2nd	3rd	4th
1st	資産価格の暴落	資産価格の暴落	資産価格の崩壊	資産価格の崩壊	財政危機	システム的な金融破綻	システム的な金融破綻	財政危機	水危機	気候変動への対応の遅さ	大量破壊兵器	大量破壊兵器	大量破壊兵器	大量破壊兵器
2nd	グローバル化の抑制	グローバル化の抑制（先進国）	グローバル化の抑制（先進国）	グローバル化の抑制（先進国）	気候変動	水供給危機	水供給危機	気候変動	水危機	感染症疾患の迅速かつ広範囲にわたる蔓延	大量破壊兵器	異常気象	異常気象	気候変動対策の失敗
3rd	国家間の戦争や内戦	中国经济のハードランディング	石油・ガス価格の急騰	石油価格の急騰	地政学的紛争	食糧危機	長期間にわたる財政不均衡	水危機	大量破壊兵器	水危機	水危機	自然災害	異常気象	生物多様性の喪失
4th	パンデミック	石油価格の急激な高騰	慢性疾患	慢性疾患	資産価格の崩壊	長期間にわたる財政不均衡	大量破壊兵器	失業・不完全雇用	国家間紛争	非自発的移住	自然災害	気候変動対策の失敗	水危機	異常気象
5th	石油価格の急激な高騰	パンデミック	財政危機	財政危機	エネルギー・農産物価格の急激な変動	エネルギー・農産物価格の急激な変動	気候変動対策の失敗	重要情報インフラの故障	気候変動対策の失敗	エネルギー価格の変動	エネルギー価格の変動	水危機	自然災害	水危機

# 今後10年間の深刻なグローバルリスク TOP10（2025年1月発表）

## 7割を環境・社会リスクが占める



リスク分類

経済

環境

地政学

社会

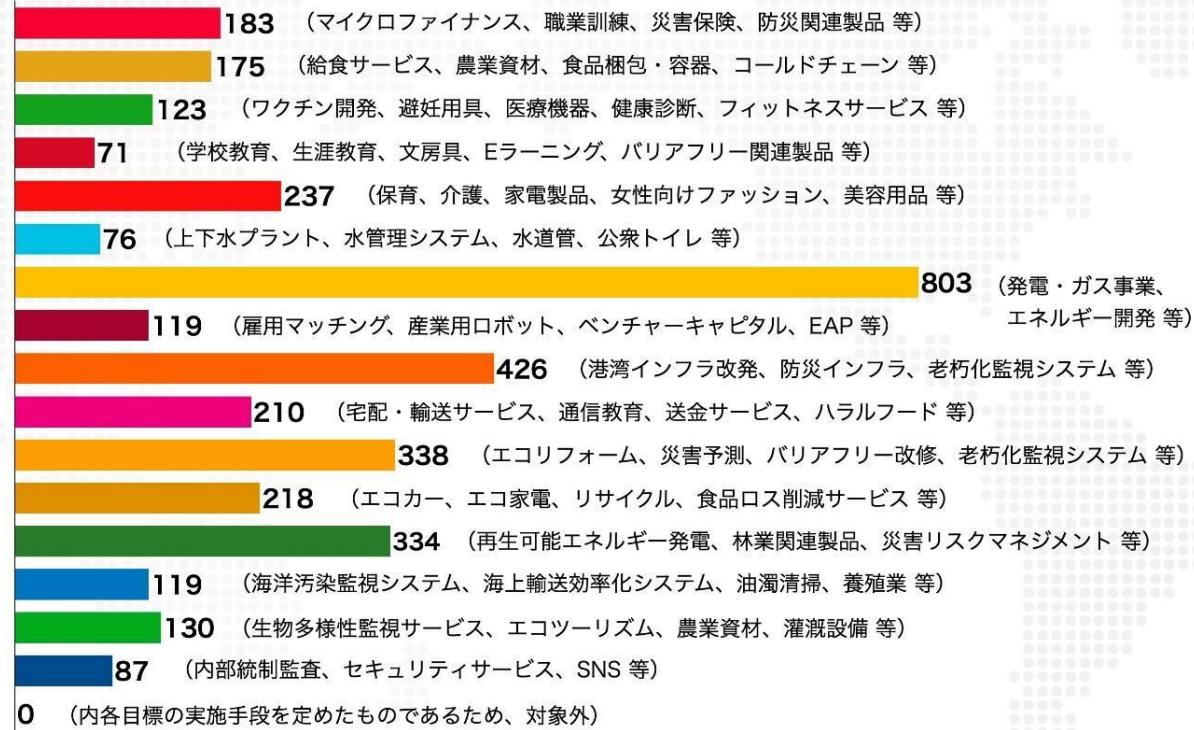
テクノロジー

# SDGs市場規模（世界）

## 年平均 1400兆円の市場

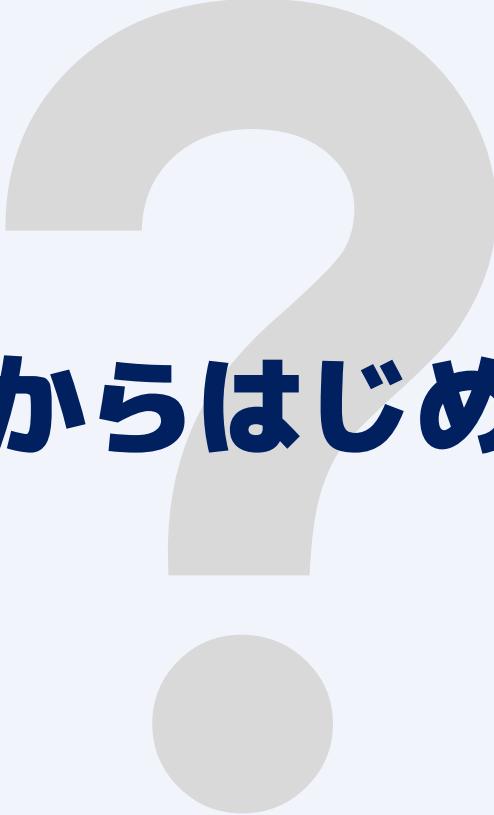
-  目標1 貧困をなくそう
-  目標2 飢餓をゼロに
-  目標3 すべての人に健康と福祉を
-  目標4 質の高い教育をみんなに
-  目標5 ジェンダー平等を実現しよう
-  目標6 安全な水とトイレを世界中に
-  目標7 エネルギーをみんなに。そしてクリーンに
-  目標8 働きがいも経済成長も
-  目標9 産業と技術革新の基盤を作ろう
-  目標10 人や国の不平等をなくそう
-  目標11 住み続けられるまちづくりを
-  目標12 つくる責任、つかう責任
-  目標13 気候変動に具体的な対策を
-  目標14 海の豊かさを守ろう
-  目標15 陸の豊かさも守ろう
-  目標16 平和と公正をすべての人に
-  目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

(単位：兆円)



# 2020年5月 SDGs経営を発表





**なにからはじめる？**

# 重点課題特定 (マテリアリティ)

IoT  
AI  
RPA  
テクノロジー  
Data  
Robot



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
 GOALS

マテリアリティ

# 強みを活かして課題にアプローチ

AI

Robot

Data

IoT

テクノロジー

5G

成長戦略

Beyond Carrier

RPA



地球環境

経済成長

技術革新

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

健康

まちづくり



ESGを代表する企業は  
10年以上 研鑽

高く遠い目標



# 取り組みの加速に重要なのは？

# 社員の自分ゴト化が課題



自分には  
関係ないでしょ。。。。

# 全社員のESG意識調査

24年度

80%



自分の業務がESGと  
つながっていると感じる

20年度上期

30%



ESG推進の自分ごと化

約2.7倍

※社員調査 (N= 12,743) / TOP2数値/FY20より毎年実施

# ソフトバンク社員へのESG浸透 3つのポイント

Point  
1



経営層の  
コミット・発信

Point  
2



部門が主体の  
体制・目標設定

Point  
3



社員一人一人の  
共感醸成

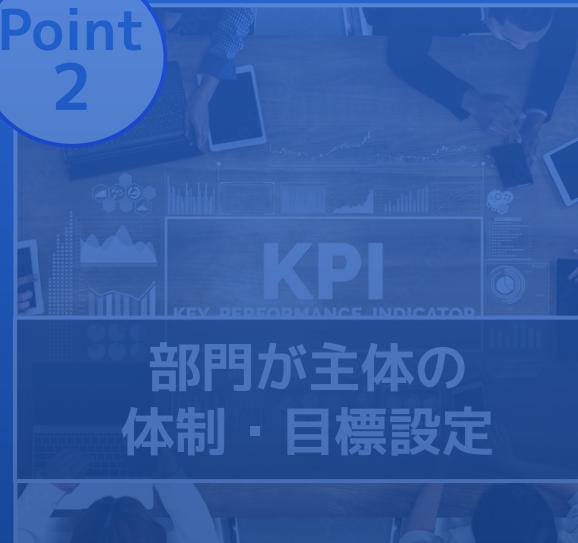
# ソフトバンク社員へのESG浸透 3つのポイント

Point  
1



経営層の  
コミット・発信

Point  
2



部門が主体の  
体制・目標設定

Point  
3



社員一人一人の  
共感醸成

# ESG経営コミットのきっかけ

2020年5月



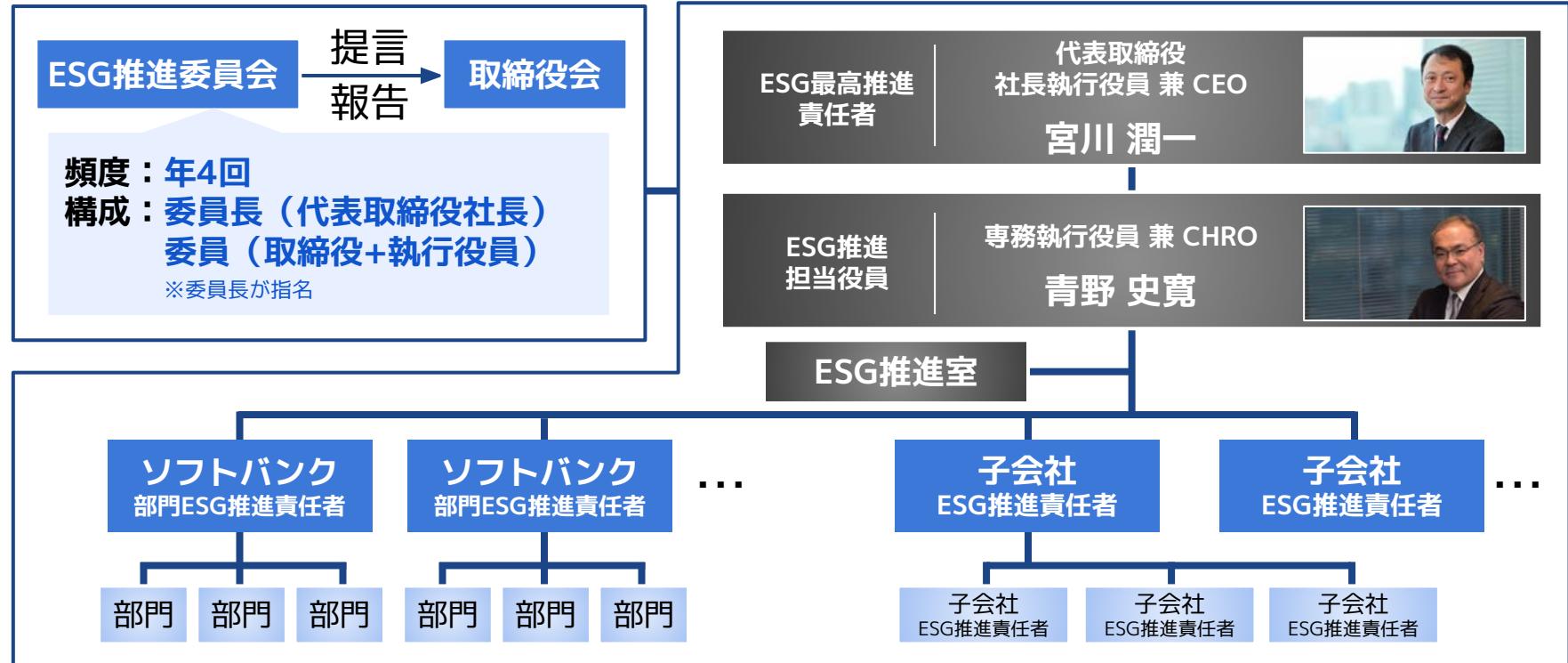
上場のタイミングで  
ESG経営を宣言  
→成長ドライバーへ

2021年4月



技術部門出身  
→ESG事業における  
テクノロジーの可能性を確信

**ESG推進体制  
各部門・子会社に責任者/担当を設置**



# 定期的に社外へ発信

## 決算発表・中計

SoftBank

2024年3月期 決算説明会

2024年5月9日  
ソフトバンク株式会社  
© SoftBank Corp. All Rights Reserved.



## ESG取組・進捗の共有

## ESG説明会



## FY23 当社初開催

## トップ商談



## ESGをきっかけに 商談機会創出へ

# 朝礼・キックオフでのトップダウン



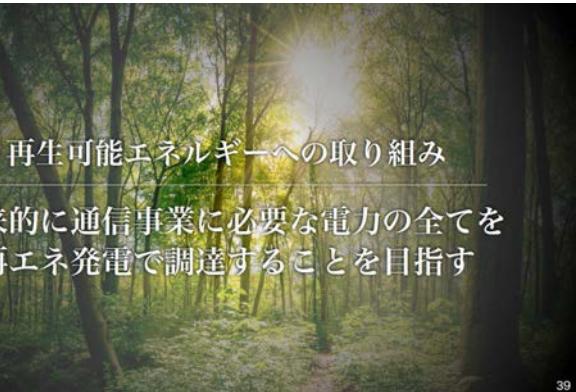
全社朝礼



キックオフ

一人一人の「ESG・SDGsの自分ごと化」へ





39



69



69

# CEOがESG経営にコミット

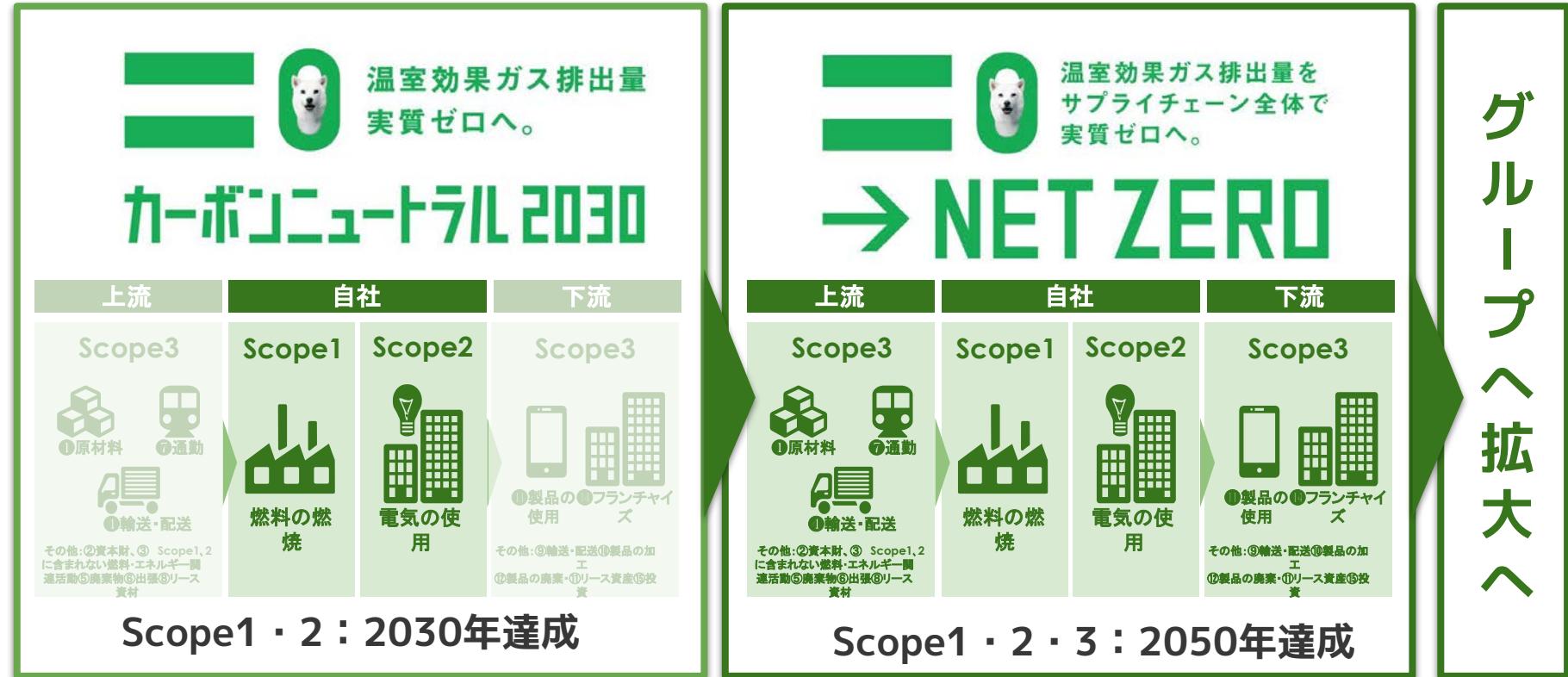


宮川CEO



※決算発表資料、地方創生SDGs国際フォーラム資料より抜粋

# 将来の地球環境を鑑み中長期的な目標設定



# 未来社会を実現するインフラへ



現在



2030年度

出典:ソフトバンク株式会社 2023年3月期 決算説明会 プレゼンテーション資料より抜粋

# AI共存社会の到来



膨大なデータの生成・処理が必要に

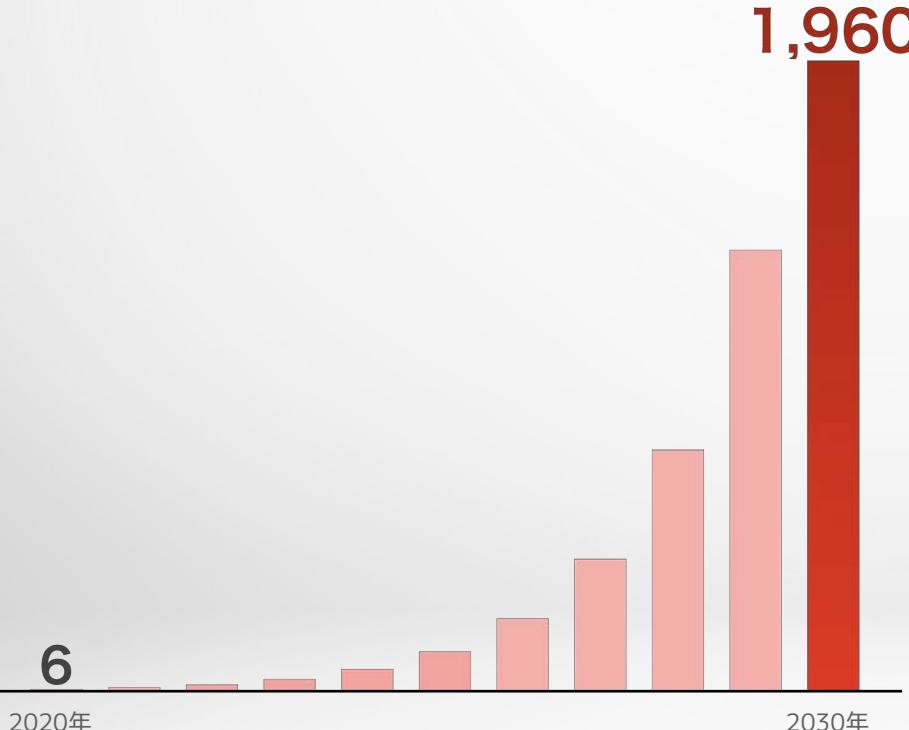
# 日本のデータ処理需要と必要な電力

[エクサFLOPS]

※エクサ：10の18乗（1エクサ=100京）

※FLOPS：コンピュータの処理能力の単位

1秒間に浮動小数点演算を何回できるかという能力



(出所) 第5回 半導体・デジタル産業戦略検討会議（経産省）及び各種公開情報より当社推計  
※必要電力量 = 必要計算能力からデータセンターに割り戻して計算。PUE(電力使用効率)1.2前提。大型火力 = 700MW

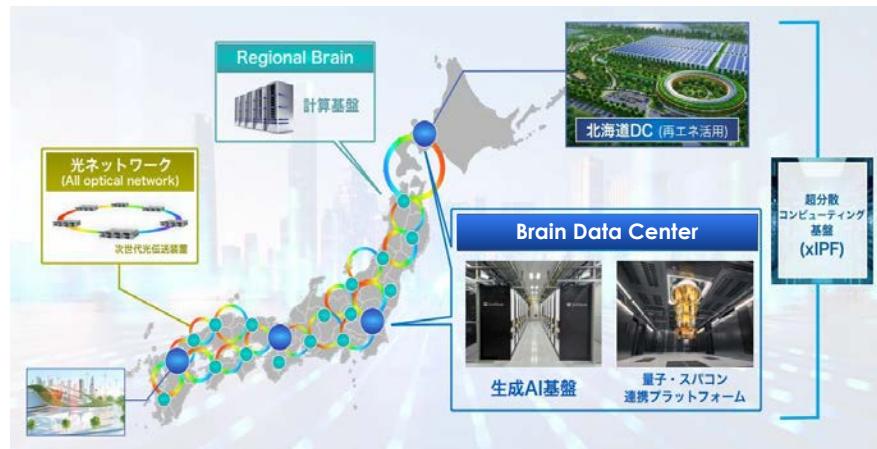
# 未来を見据えた決断

電力使用量拡大を想定し、目標を見据えた実効策をコミット

## 長期PPA締結



## 分散型AIデータセンター



# 新たな森林保全の取り組み

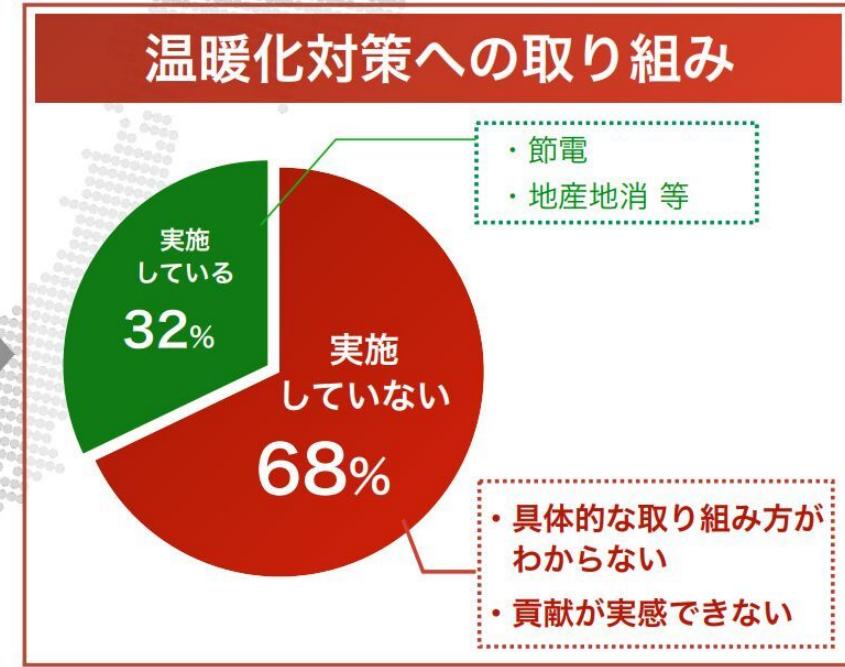
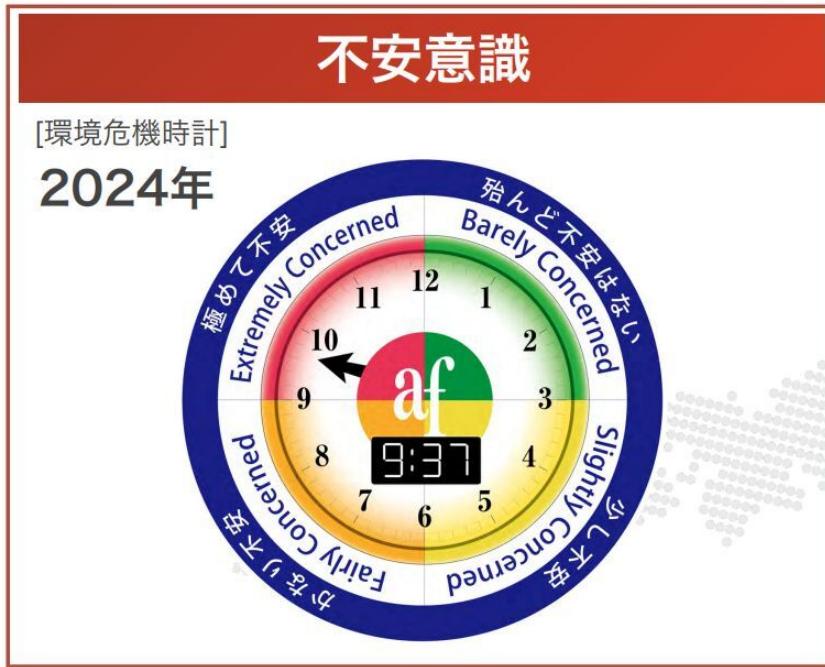
日本森林再生  
応援プロジェクト  
(企業版ふるさと納税)

47道府県市

消費者参加型  
植樹貢献プログラム  
(NatureBank)

3億ユーザー

# 国民の温暖化への向き合い方



## 意識と行動のミスマッチが顕在化

環境危機時計：公益財団法人旭硝子財団 環境危機時計(2024年)。地球環境の悪化に伴って回答者が人類存続に対して抱く危機感を、時計の針で表示した指標  
温暖化への取り組み：公益財団法人旭硝子財団 公式HPおよび博報堂「生活者の脱炭素意識&アクション調査」より当社作成

# NatureBank

アプリやサービスを使うだけ。  
ソフトバンクの森づくりの仕組み。

申し込み

不要

参加費

無料

効果

対象サービス利用によるCO<sub>2</sub>抑制効果相当の植樹支援

対象者

サービス利用者 全員

対象サービス

16サービス

期間

2025年7月30日～2030年7月31日

※対象サービス自体への利用申し込みや、基本料、使用料などがかかる場合があります。  
詳細は、各サービスのサービス利用内容をご確認ください。



# ネイチャーバンクの流れ

エコサービスを利用  
(ユーザー)



CO<sub>2</sub>抑制に貢献する  
エコサービスの利用を促進

植樹を支援  
(ソフトバンク)



ユーザーが抑制した  
CO<sub>2</sub>相当分の植樹を支援

成果・効果を発信  
(ソフトバンク)



公式ホームページ／LINE等で発信

# 植樹本数

日本森林再生  
応援プロジェクト

(企業版ふるさと納税)

47道府県市

消費者参加型  
植樹貢献プログラム

(NatureBank)

3億ユーザー

↓  
180万本  
(15年間)

↓  
35万本 + $\alpha$   
(5年間)

180万本 : 想定植樹本数

35万本 : NatureBankによる弊社の植樹本数 (各エコサービスの過去実績 (FY24)に基づく)を5年間継続した試算。+  $\alpha$ : 今後のサービス利用状況に応じて変動

# 目指す姿



企業・自治体と連携し  
**森林保全の  
さらなる拡大へ**



# ソフトバンク社員へのESG浸透 3つのポイント

Point  
1



経営層の  
コミット・発信

Point  
2

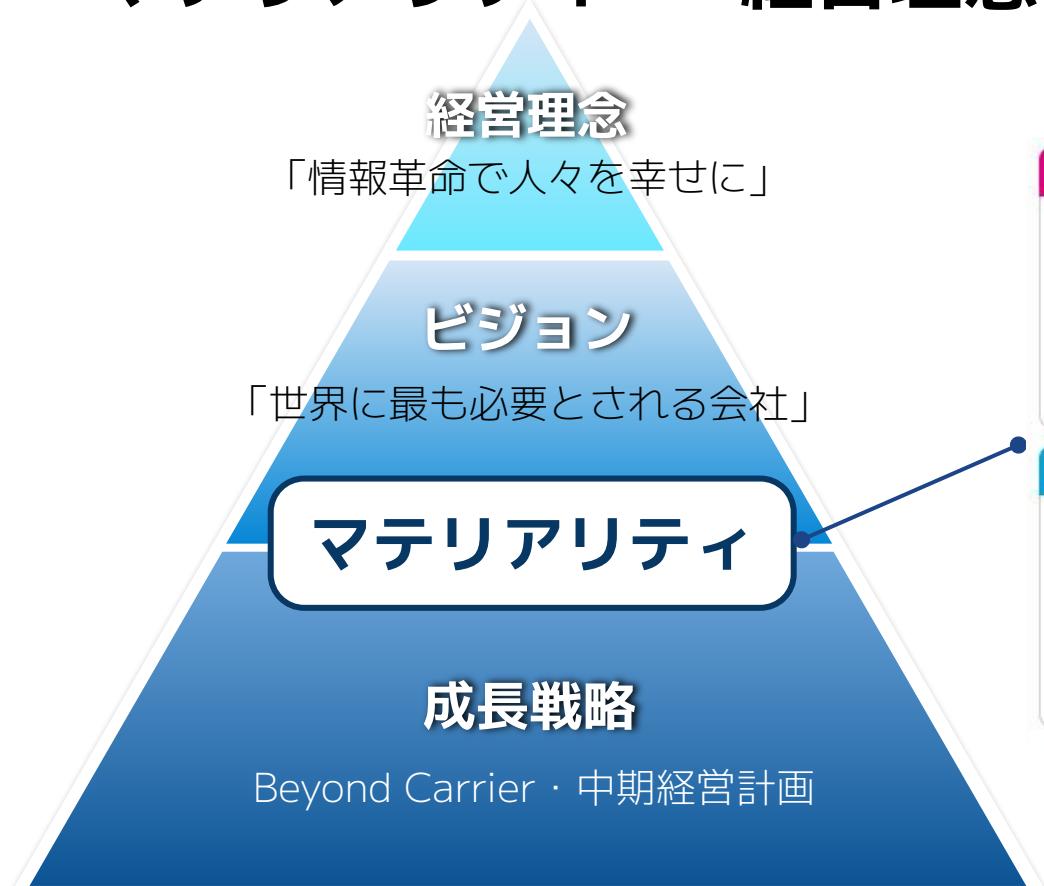


Point  
3



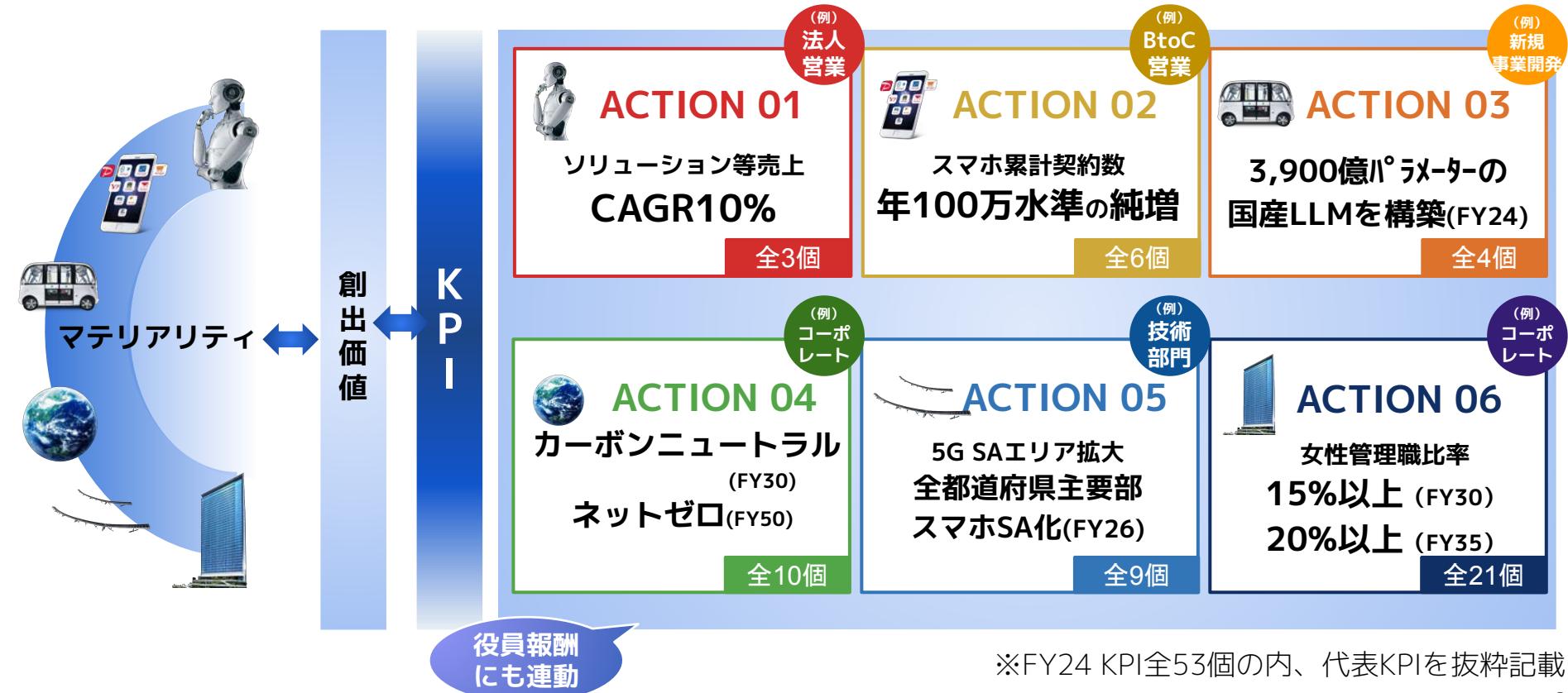
社員一人一人の  
共感醸成

# マテリアリティ = 経営理念と成長戦略を繋ぐ羅針盤



事業を通じた社会課題解決					
	<b>ACTION 01</b> DXIによる 社会・産業の構築		<b>ACTION 02</b> 人・情報をつなぎ 新しい感動を創出		<b>ACTION 03</b> オープンイノベーションによる 新規ビジネスの創出
企業活動を通じた社会課題解決					
	<b>ACTION 04</b> テクノロジーのチカラで 地球環境へ貢献		<b>ACTION 05</b> 質の高い 社会インフラの構築		<b>ACTION 06</b> レジリエントな 経営基盤の発展

# マテリアリティの実効性を担保するためにKPIを設定 →各部門のトップが責任をもって推進



# 「各部門のトップが責任をもって推進」？



ESG推進室

聞き手  
= 他人事

内容の発表・説明  
= 主体者

# 部門責任者が自らが発表

ESG推進委員会



ESG推進室

KPI目標・実績発表  
=自分事

司会進行  
=事務局機能

わからな  
いと話せ  
ない

# ソフトバンク社員へのESG浸透 3つのポイント

Point  
1

Point  
2

Point  
3



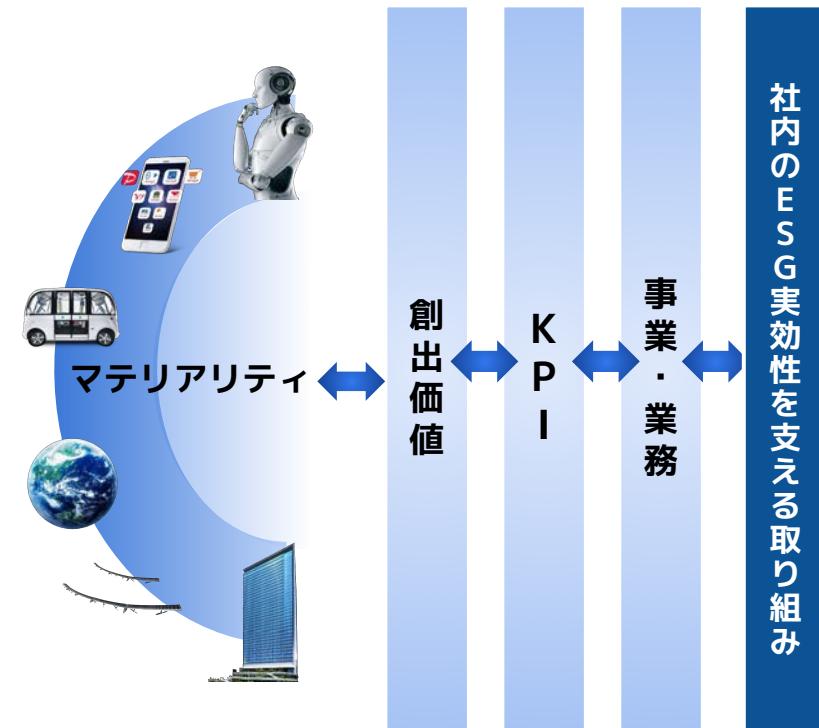
経営層の  
コミット・発信



部門が主体の  
体制・目標設定

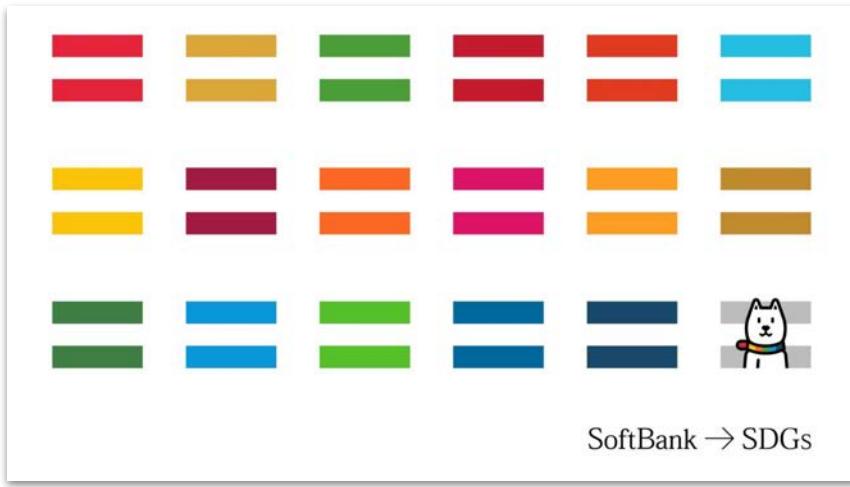


社員一人一人の  
共感醸成



社員から見て  
遠い世界観…

一人一人に届く  
仕組みを展開



zoom背景

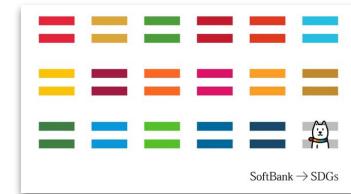
まずは身近

# シンボル・社用アイテムの拡充 日々の業務でSDGs/ESGに触れる機会を提供

## シンボル



## Zoom背景



## 名刺



## ビジネスツール

封筒/手提げ袋



# 言葉遣いも丁寧に SDGs→ESGに発展的に表現も変化



※決算発表資料、地方創生SDGs国際フォーラム資料より抜粋



## ソフトバンクの ESG推進



このeラーニングでは

# 次に知識

# 毎年その年のフェーズにあわせて 全社eラーニング研修を実施

FY20		FY21		FY22		FY23	
<b>SDGs基礎+ 6つのマテリアリティ</b>	The image shows a slide from the e-learning course. It features a red background with white text that reads 'ソフトバンクの SDGs' and 'eラーニング後半'. To the right is a circular graphic composed of colored dots (red, green, blue, yellow) surrounding the text 'SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS'.	<b>マテリアリティ/KPI+ 自分ごと化</b>	The image shows a slide from the e-learning course. It features a large stylized letter 'E' with a white dog's face in the center. Above the 'E' is the text '世間から注目されるソフトバンクのSDGs /' and below it is the text 'すべてのモノ・情報・心がつながる世の中を'.	<b>自分ごと化の強化+ SX重要性</b>	The image shows a slide from the e-learning course. It features a large stylized letter 'E' with a white dog's face in the center. Below the 'E' is the text 'すべてのモノ・情報・心がつながる世の中を'.	<b>マテリアリティ/創出価値+ 自分ごと化の強化</b>	The image shows a slide from the e-learning course. It features a large green globe with a white dog's face on it. Below the globe is the text 'ソフトバンクの ESG推進'.
<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>SDGsとは</li><li>取組む意義</li><li>マテリアリティ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>取組む意義</li><li>マテリアリティ/KPI</li><li>業務とSDGsの関連性</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>SXの重要性</li><li>業務とSDGsの関連性</li><li>ネットゼロ宣言</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ESGとは</li><li>マテリアリティ/創出価値</li><li>業務とESGのつながり</li></ul>			
<b>形式</b>	紙芝居+テキスト (手動送り)	紙芝居+ナレーション	動画+ナレーション (多言語・字幕対応)	動画+ナレーション (多言語・字幕対応)			

# 各事業・部門の目線で丁寧な解説 ESGと業務の繋がりを促進



全社員直接的および間接的にマテリアリティに貢献

# そして行動

## MBO目標設定への反映



## マテリアリティとの連動

## SoftBank Awardとの連動

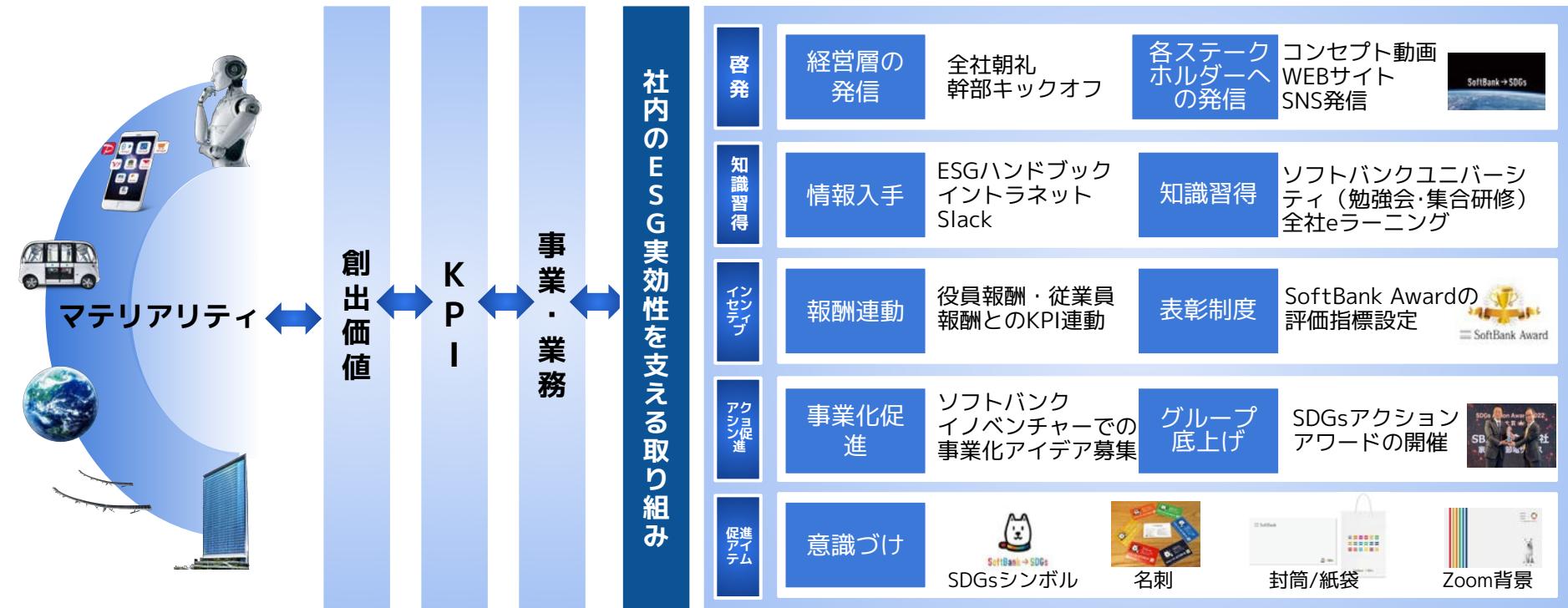


### SoftBank Award

売上や利益だけでなく、  
チームや個人の挑戦的・独創的な取組による  
貢献を表彰する社内表彰制度

## SDGs連動評価項目を設定

# 様々な施策で丁寧に社員の自分ごと化を促進



※取り組みを抜粋記載

# ソフトバンク社員へのESG浸透 3つのポイント

Point  
1



経営層の  
コミット・発信

Point  
2



部門が主体の  
体制・目標設定

Point  
3



社員一人一人の  
共感醸成

映像をご覧ください

<https://youtu.be/avzfLP2D60k?si=64FGnSE5rz3kPGJU>

# 全社員のESG意識調査

24年度

80%



自分の業務がESGと  
つながっていると感じる

20年度上期

30%



ESG推進の自分ごと化

約2.7倍

※社員調査 (N= 12,743) / TOP2数値/FY20より毎年実施

**自分ごと化とは  
「それは私の延長線上にある」と  
捉えなおすこと**

